

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成22年11月11日 (2010.11.11)

【公開番号】特開2009-148611(P2009-148611A)

【公開日】平成21年7月9日 (2009.7.9)

【年通号数】公開・登録公報2009-027

【出願番号】特願2009-86949(P2009-86949)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成22年9月29日 (2010.9.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

表示状態が変化可能な複数の表示領域を有する可変表示部を含み、変動開始の条件の成立に応じて前記表示領域に表示される図柄の変動を開始し、該図柄の表示結果があらかじめ定められた特定表示態様となったときに遊技者に有利な特定遊技状態に制御可能な遊技機であって、

遊技の進行を制御する遊技制御手段と、該遊技制御手段が出力したコマンドにもとづいて前記可変表示部の表示制御を行う表示制御手段とを備え、

前記遊技制御手段は、

前記特定遊技状態とするか否かを決定する特定遊技状態決定手段と、

前記可変表示部の表示内容を決定する表示内容決定手段と、

前記表示内容決定手段の決定にもとづいて図柄の変動時間を含む変動態様を特定するためのコマンドと図柄の表示結果を特定するためのコマンドとを出力し、前記変動時間が経過したときに全ての表示領域における図柄の最終停止を示すコマンドを出力するコマンド出力手段とを含み、

図柄の変動態様には、前記特定遊技状態とすると決定されたときに最終停止図柄とは異なる仮図柄を表示し、その後前記最終停止図柄を表示することが可能な再抽選動作態様が含まれ、

前記表示制御手段は、

前記コマンド出力手段が出力した前記図柄の表示結果を特定するためのコマンドにもとづいて前記最終停止図柄を特定する最終停止図柄特定手段と、

前記仮図柄を表示した後、再抽選動作態様の表示制御を行う再抽選制御手段とを含み、

前記再抽選制御手段は、前記仮図柄が表示されてから前記最終停止図柄が表示されるまでの図柄変化数に関わらず、前記仮図柄の表示時から前記最終停止図柄を表示するまでの時間が同一である再抽選動作態様の表示制御を行い、

前記表示制御手段は、前記コマンド出力手段から出力された前記図柄の最終停止を示すコマンドにもとづいて、前記可変表示部における全ての表示領域における図柄を最終停止させる表示制御を行う

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明による遊技機は、表示状態が変化可能な複数の表示領域を有する可変表示部を含み、変動開始の条件の成立に応じて表示領域に表示される図柄の変動を開始し、図柄の表示結果があらかじめ定められた特定表示態様となったときに遊技者に有利な遊技状態に制御可能な遊技機であって、遊技の進行を制御する遊技制御手段と、遊技制御手段が出力したコマンドにもとづいて可変表示部の表示制御を行う表示制御手段とを備え、遊技制御手段は、特定遊技状態とするか否かを決定する特定遊技状態決定手段と、可変表示部の表示内容を決定する表示内容決定手段と、表示内容決定手段の決定にもとづいて図柄の変動時間を含む変動態様（変動期間等）を特定するためのコマンドと図柄の表示結果を特定するためのコマンドとを出力し、変動時間が経過したときに全ての表示領域における図柄の最終停止を示すコマンドを出力するコマンド出力手段とを含み、図柄の変動態様には、特定遊技状態とすると決定されたときに最終停止図柄とは異なる仮図柄を表示しその後最終停止図柄を表示することが可能な再抽選動作態様が含まれ、表示制御手段は、コマンド出力手段が出力した図柄の表示結果を特定するためのコマンドにもとづいて最終停止図柄を特定する最終停止図柄特定手段と、仮図柄を表示した後、再抽選動作態様の表示制御を行う再抽選制御手段とを含み、再抽選制御手段は、仮図柄が表示されてから最終停止図柄が表示されるまでの図柄変化数に関わらず、仮図柄の表示時から最終停止図柄を表示するまでの時間が同一である再抽選動作態様の表示制御を行い、表示制御手段は、コマンド出力手段から出力された図柄の最終停止を示すコマンドにもとづいて、可変表示部における全ての表示領域における図柄を最終停止させる表示制御を行うことを特徴とする。

そのような構成によれば、表示制御手段に送出されるコマンド数を増やすことなく図柄変動の種類を増加することができ、その結果、図柄変動の種類を増加しても遊技制御手段の図柄表示に関する制御の負担を軽くすることができる効果がある。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 8】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 1 5
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 9】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 1 6
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 0】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 1 7
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 1 8
【補正方法】削除
【補正の内容】